

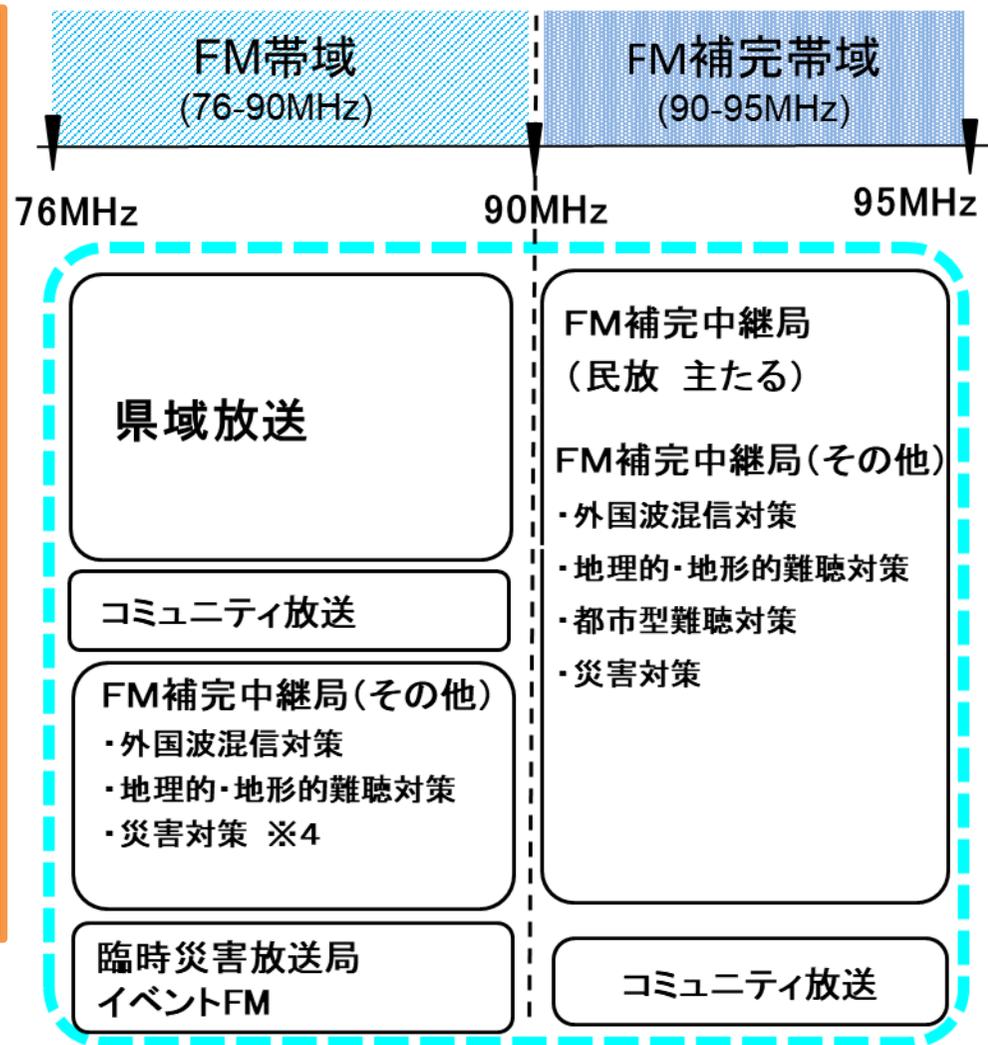
放送大学のFM跡地を含む  
FM放送用周波数帯の現在の利用状況について

---

事務局

- 76MHzから90MHzまでの周波数は、県域放送を中心とするFM放送に利用されており、90MHzから95MHzまでの周波数は、FM補完中継局を中心とするFM放送に利用されている（右図参照）。
- FM放送用周波数帯では、災害時におけるラジオの重要性を背景としてコミュニティ放送局※2が急増するとともに、臨時災害放送局用の設備を導入する自治体も増加している。
- さらに、平成26年4月に制度化されたFM補完中継局の全国的な置局等により、FM放送用周波数帯はひっ迫しつつある。これを緩和するため、同一周波数の利用を可能とするFM同期放送技術※3を検討中。
- 放送大学におけるFM放送は平成30年9月に終了しているが、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における周波数の利用の可能性に配慮し、その終了までは、跡地を実用局に割り当てない方針であり、現在は割り当てていない状況。

※1 放送大学のFM跡地：放送大学学園が実施していたFM放送の跡地



※2 コミュニティ放送局：FM放送により、地域の問題や行政、観光、交通等の地域に密着したきめ細かな情報等を提供し、地域の活性化等に寄与することを目的とした地域密着型メディア

※3 放送区域が重複又は隣接する複数の送信所が同一の周波数により同一の番組を同時に放送することを可能とする技術

※4 90.1-94.9MHzの周波数が使用できず真に必要な場合に限る。

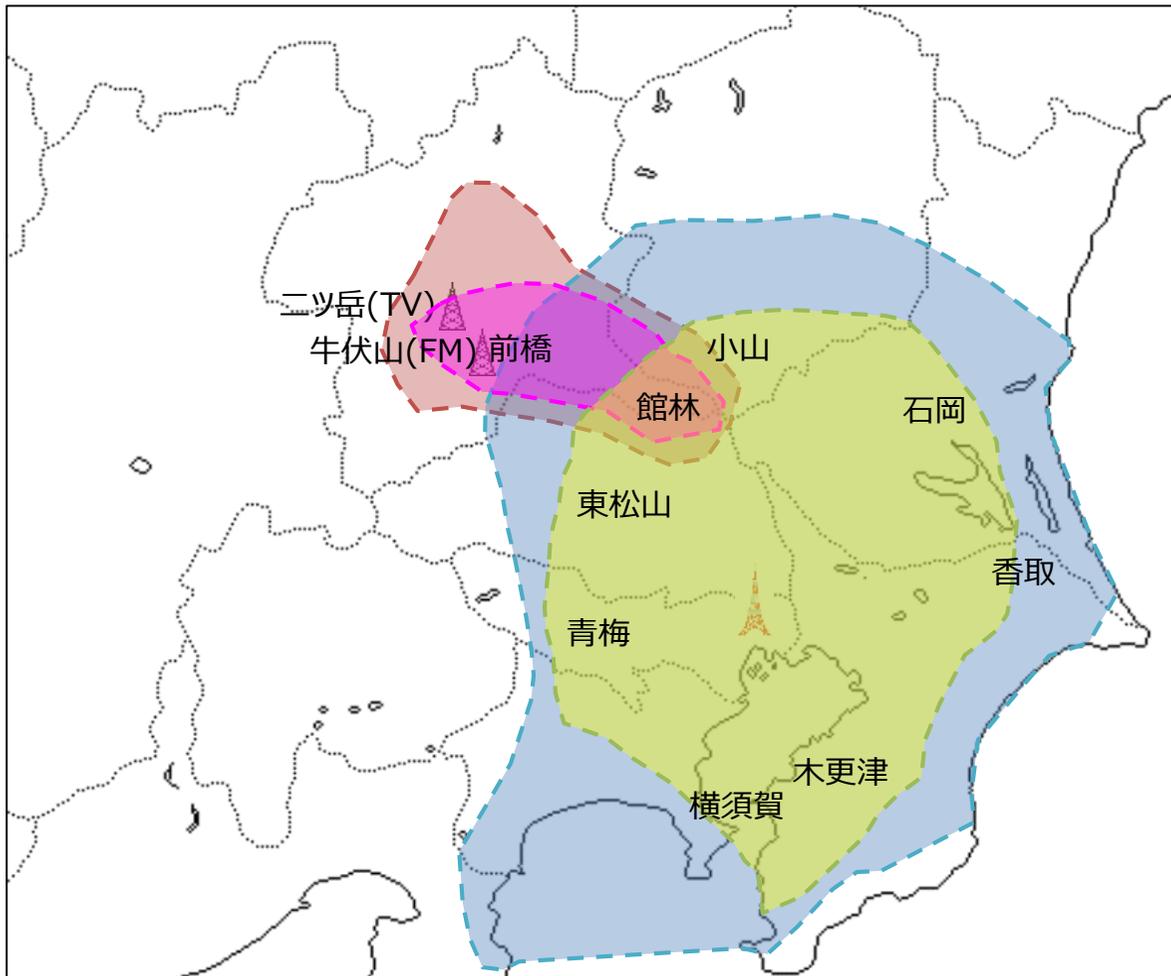
# (参考) 放送大学 (地上波) 放送エリア及び局諸元 (概要)

テレビ

局名	周波数	出力	カバー世帯数
東京本局(東京タワー)	28ch	5kW	約1530万世帯
前橋中継局	28ch	100W	約83万世帯

ラジオ

局名	周波数	出力
東京本局(東京タワー)	77.1MHz	10kW
前橋中継局	78.8MHz	1kW



- 東京TV局放送エリア
- 東京FM局放送エリア
- 前橋TV局放送エリア
- 前橋FM局放送エリア